

大学院現代社会文化研究科（博士前期課程） 2022 年 9 月修了に向けた学位論文審査出願要項

2022 年 9 月修了に向けた博士前期課程の学位論文審査について、出願を受け付けますので、学位論文の審査及び最終試験を受けようとする者は、以下のとおり出願してください。

1 出願手続について

(1) 出願資格

既に学位論文作成資格審査を受け、「学位論文作成資格者」として認定された者

(2) 出願期間

2022 年 6 月 6 日（月）～6 月 9 日（木）16 時 00 分【厳守】

（郵送で提出する場合、必ず上記期間中に必着となるよう郵送してください。）

(3) 出願方法

上記期間中に、出願書類（電子媒体）を USB メモリに格納のうえ、提出してください。

（提出された USB メモリは返却しませんので、ご了承ください。）

なお、出願にあたっては、必ず事前に履修指導委員会に連絡のうえ、出願許可を得てください。

(4) 出願書類の提出先（各種お問合せ先）

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地

国立大学法人新潟大学 人文社会科学系大学院学務係

TEL：025-262-7895 E-mail：jimugen@cc.niigata-u.ac.jp

(5) 出願書類

- ☐ 論文審査出願書（別記様式第 1 号）
- ☐ 履歴書（別記様式第 2 号）
- ☐ 学位論文（別紙を参照のうえ作成）
- ☐ 学位論文の要旨（別紙を参照のうえ作成）

上記書類に不備不足がある場合は、出願を認めませんので、注意してください。

また、書類の氏名欄は、すべて学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とし、留学生はアルファベットの太文字・小文字に注意してください。

2 最終試験について

【実施期間】2022年6月27日（月）～7月8日（金）

上記期間中に口頭試問による最終試験を実施します。実施日時・実施方法等については、各自で学位論文審査委員会の主査となる教員（主指導教員）と連絡・調整してください。

3 審査結果の発表について

審査結果は、2022年8月26日（金）17時に、本研究科HPにて発表します。

なお、審査に合格した学生（修了予定者）は、製本・公表に用いる学位論文の最終稿の提出等といった、手続きを行う必要があります。別途お知らせする「修了予定者の必要手続きについて」を参照のうえ、必ず期限までに必要な手続きを行ってください。

4 修了式について

修了式（学位記授与式）は2022年9月20日（火）に予定されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止の可能性もありますので、今後のお知らせに注意してください。

5 修士論文要旨集について

本研究科『修士論文要旨集』刊行委員会では、博士前期課程修了生の「学位論文の要旨」を集成した『修士論文要旨集』を刊行しています。

今年度の修了生の要旨は、文法・言語表現等について主指導教員の確認を得たうえで、以下のとおり掲載予定です。

- ・掲載号：『修士論文要旨集』第18号（2023年3月刊行予定）
- ・配付対象者：今年度の修了生 学位記と併せて配付（9月修了生は郵送にて配付）
 - 上記主指導教員 メールボックスへ投函
 - 来年度の進級生 進級生ガイダンスにて配布
 - 来年度の新入生 新入生ガイダンスにて配布

学位論文の体裁について

- ・ PDF 形式で提出すること。
- ・ 用紙サイズは A4 判とし、和文又は英文で作成すること。（枚数・字数に制限・指定はなし）
- ・ 必ず「表紙→目次→本文→裏表紙（白紙）」の順で作成すること。
- ・ 表紙は以下の表紙例のとおり作成すること。
- ・ 目次・本文には必ずページ番号を付し、本文の文字サイズは 10.5 ポイントとすること。

表紙例

学 位 论 文 名
— 副 题 —

2022 年 9 月
新潟大学大学院
現代社会文化研究科
氏名 ○○ ○○

- ・専攻・在籍番号は記載せず、氏名は学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とすること。
- ・留学生はアルファベットの太文字・小文字の区別に注意すること。

表紙例

學位論文名
|
副題
|

二〇二二年九月
新潟大学大学院
現代社会文化研究科
氏名 ○○○○

学位論文の要旨の体裁について

- ・ Word 形式で提出すること。
- ・ 用紙サイズは A4 判とし、和文又は英文で作成すること。
- ・ 枚数は 1～2 枚程度とし、字数は和文 2,000 字程度又は英文 750words 程度とすること。
- ・ 右記の例のとおり作成すること。

- ・専攻・在籍番号は記載せず、氏名は学務情報システムに登録されている（学生証と同一の）表記とすること。
- ・留学生はアルファベットの太文字・小文字の区別に注意すること。

學位論文名
—副題—

新瀉大学大学院現代社会文化研究科
氏名 ○○○○

以下，本文